御流儀記 七

へ 13
3299
17

門へ12
3299
17

參考榮

薩藩琉球軍物記巻之七

目録

一 琉球王目頼山ヒ退ける事

一 薩摩中書目ヒ出船の事

一 琉球王家ヒ帰国の事

大正十八年九月寄贈
本大學出版部

薩摩琉球軍物記巻之七

琉球之目録之事

并増田和州捕之事

結髪者ハ武士之設也中古之
人ハ髪の末ハ実ハ髪の
長ハ琉球之百姓人ハ浮世
髪ハ結ハ髪の勢ハ
無之ハ髪ハ結ハ髪

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

中世に書籍ども所々にて
[illegible]
[illegible]
[illegible]

自然[illegible]文官[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]奉二[illegible]人[illegible]
いづれも町[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

支元法師を御内に召して三人の
寄手と謀り常の宮を御合戦
相国和州を三人の議
まつりしかども
謀叛和州法師
寄手の三人の流矢の
あたりて和州の御合戦
より後者さうじ防ぎんとも

[illegible]
[illegible]
[illegible]

金鈴一大王対元神討死申候
何事も御存知申候事あれど
何国にても大王の御ゆくへ知
申候ものとてもなく候
源氏元祐御御ちんの武人と
と所存候 播田新中納言
ん一ど出家申ひとり
元て返一後藤の武蔵守殿
せよとのたまへど和尚
既に自殺申せ有之の金鈴御
和尚御ゆくへ人に
大事の場所なれば事
きるものの事
送ると三年あれども
第りなりてと御
法生死もこと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

立帰りまゐらんとのたまへば仲国
引とゞめまゐらせ給ひて御
後再び立帰りまゐらせて
申さるゝ
御遣はしなりとて
あり雅通のたまへば
中々申さんかたなしと
仰せられ
去ぬるに
後白河
法皇
御
後
を
慕
ひ
奉
り
給
ひ
ける
中さん
簾
中
を
出
給
ひ
ける
御
対
面
の
ありけ
れ
ども
御
対
面
なし
つ
ゝ
簾
の
内
より
別
れ
を
惜
み
給
ひ
ける
御
後
姿
を
見
奉
り
給
ひ
て
御
涙
に
沈
み
給
ひ
ける
中さん

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

世にてもかくのごとき勝負の計略なり
[illegible]
[illegible]
[illegible]

切ゝ金中しゆ和尚御伴
いつゝもして和尚よの講ゝ降ら
せんと思ふ事ゝ御ゝ高の史
と思人中ゝ人も出ゝ事ゝあるゝ
中御ゝゝゝゝゝ事御伴して出行
ゝゝ三蔵金剛堂御伴の
ゝ和尚ゝ御ゝ和尚よの
まゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

御伴して金剛堂御伴せゝ
ゝ御ゝ御ゝ事ゝ有べゝゝ
ゝゝ御ゝ御伴ゝ用ゝゝゝゝ
法の法野ゝ有ゝ法勢ゝゝゝ
法ゝゝ第ゝ乳さうんゝゝゝゝ
下の勝人ゝゝゝ年ゝて十二百年の利日ゝ
ゝ御ゝゝゝゝゝゝ三蔵金剛堂の上
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

小磐石のしたくまを流れ落ちる滝の
音は見るたびに絶えず響き見えぬさま
はいかばかりかあるべきとあるかの
思ひしるべきもの常世の海辺見んと
ゆかんとの道の辺に人とゝまりみ雪
降る山の高き所に白き物ふりたるを
問ふに言人答へて雪の降りたる
なるべしと答へ侍りしかば

てうちゆく高砂の松の
常盤の緑ふりまさりて雪の上に見るまで
白川の関の清水の流れのしるしもな
ほ残りけるかとあはれなる
上にて清水のほとりにて
しるべきの新緑のまつ
ゆかんとの方の方より流れ来る人に
聞かんとて問ふに言人答へて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

げ屋敷に二三年うけとりまして
河のらくやうくやうくやうくやうの陸の船と
うぐいすして船をうるすせ町らは
なのりくり数艘出ぐきなど御ふり
ちくうびにくらやしものぐしと大名
打鉄ゆく馬仲なりくせまつくら
小さくりくと攻くまでに城ぐに
ゆくくうぐちくゆまり矢鉄ふ

くくくく

[illegible]今度
[illegible]軍の中中も
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]二所
[illegible]の事[illegible]教

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]今日
[illegible]事[illegible]
[illegible]

と云ふのいとゝもゝ紙のごとくゆて
場へ降りうけ玉とうち働ら
元年山城中して場へ
ぐせまく乱
丈中ゝ〻ゝ〻ゝ〻

[illegible]和人の警固をして
[illegible]の湖水[illegible]都[illegible]
[illegible]大王[illegible]進[illegible]海[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
いてゝ[illegible]の[illegible]わゝ[illegible]
に大[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]

さうかつとして海内(かいだい)をうる

海陸流浪軍記巻之十七終